

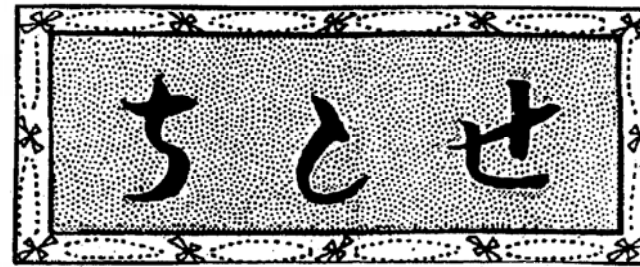


発行・編集 ミニコミ編集委員会
 責任者 齋藤和子
 事務局 船橋まちづくりセンター
 電話 03-3482-0341
 2009. 12 No.第86号



まちの目が
 安全・安心を守っています

船橋地区町会・自治会連合会
 船橋地区身近なまちづくり推進協議会
 青少年船橋地区委員会/成城警察署/成城防犯協会



千歳台小開校30周年によせて
CHILDREN FIRST!

地域と共に！！

校長 つかだとしお

12月5日は千歳台小学校の誕生30周年の式典・祝賀会の日です！
 「周年に向かって千歳台小学校が一つの頂点を迎えられるよう、職員一同、一体となり、子どもたち、地域・保護者と手を携えて盛り上げて行こう！」と、約3年前より取り組みを始めました。この事業の数々を、子どもたち・保護者・地域の方々と共に迎えることが出来て、「いい時に千歳台にいられたなあ。」と、幸せに思います。

周年事業に取り組む意義は、3つあるとおもいます。

- 1、「千歳台小学校の素敵・地域の素敵を、より深く知ること」
- 2、「学校と地域を好きになり、そこで育った自分たちを好きになり、誇りを持つこと」
- 3、「未来に向けて、学校・保護者・地域が、より緊密で確かな信頼感・関係を築くこと」

学区の地域住民は1万3千人。お預かりしているお子さん550人。今、千歳台小学校は、家庭・地域と信頼しあい、連携・融合している素晴らしい時代にあると思います。今後ともさらに発展し続けてほしい！

皆様、千歳台小学校をよろしく願いいたします。

『船橋会 会長を受けて』

船橋会 会長
 齋藤 眞



5月の総会から順調にスタートした鈴木幸次会長の今年度でしたが、7月に体調を崩され今般会の運営上新たに会長を選出する臨時

総会において後任に選出されました。

会長として毎日が勉強の日々ですが有能な役員のお力を拝借して会運営をしてゆければと思っています。因みに血液型はB型です。関係はないかもしれませんが「保守派」よりは「革新派」だと自分では思っています。役員会の話し合いと意向を大切にしながら、徐々に自らの色を出して会の更なる発展に微力ながら貢献できればと願っています。



情報 船橋まちづくりセンターまで
 お願いします。

どこ？ だあれ？ おしえて！

〜千歳台小開校30周年を祝し

廻澤→千歳台の素敵を探そう 〜

開校事業に因み、1912年～1930年（大正元年～昭和4年）頃の廻沢の生活の様子を知る好機を得、1912年に廻沢の地に生誕したK氏の『自分史』より抜粋させて頂いた。

母屋には玄関などという洒落た入り口はなく、「天の岩戸」を思わせるような木製の厚くて重い一戸戸があり、軒から庭、じょうぐち（自用口？）に続く。この引き戸、夜になると大きい黒い鉄鍵が、がちゃっとかかる。お勝手に続く広い土間、天井近くに鶏の埒（ねぐら）があった。半間ほどの仕切りガラス戸を開けると、丸くて大きい火鉢に炭火、薬缶がかけられ、お茶が何時でも飲めた。そこが父の定位置だった。台所の洗い場の横に壁土まじりらしい、へっつい（竈）二つと大竈一つ、焔炉一つがでんと構えていた。漬物・味噌・醤油等すべて自家製で保存食だった。廻沢の農業は畑作が主で水田は1%に満たなかった。隣接近村の水田は大地主が抱えており、一般庶民の米飯は特別の日の食事だった。各家の屋根は茅屋根、防風防火のために家の廻りに檜、樺、モチ、杉等の木を植えた。それが巨木となり、他家を聞かれても、あの森の辺りぐらいにしか教えられなかった。収穫した筍や野菜、西瓜は大八車に積み、淀橋（今の都庁）の市場に運んだ。小学校高学年になるとその後押しの手伝いをした。帰りは一輛きりの京王線に乗り、かみたかいど（今の芦花公園）で下車した。運賃は12銭だった。

1919年に塚戸小学校に入学、服装は緋の着物にぞうり、肩からズックのカバンを下げた。その中に石板（薄い石の板）を入れていた。秋には運動会があり、その服装は縞柄の股引き（ももひき）にシャツ姿だった。2年生になった時、千歳村役場が廻沢に移された。（今の千歳農協）八ヶ村で、神奈川県北多摩郡に属していた。この時の廻沢の人口は61世帯383人だった。3年生の時300m離れたところに新校舎ができ、低学年は椅子や机を運んだ。4年生の時に各家庭に1～3灯の電燈がつけられた。光度は4ワット～8ワットで、配電は夜だけだった。

この続きは紙面の都合上、次号に載せます。



千歳台小30周年記念壁画作成中の様子



東京都知事から表彰状

今年の三月「ちとせ」第84号で大東学園高校の活動を紹介していただきました。そのことがきっかけで、地域での校外清掃に取り組んでいる環境委員会の活動が認められ、10月に東京都から表彰されました。また、世田谷区からも11月に表彰が予定されています。（11月29日）

今後も、さらに地域に開かれた大東学園をめざし、地域の皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っておりますので、これからも宜しくお願いいたします。

大東学園 高校
 校長 金子広志



船橋地区町会・自治会

歳末夜警について

これは年末だけ行っているのではなく、特に強化をするというお知らせです。現に日常的に18年間防犯パトロールをしている組織もあります。有難うございます。

船橋会：未定
 船橋葭根会

千歳台廻澤町会
 役員2班に分かれて
 12月28日から31日

フレール西経堂自治会
 希望者で一斉
 12月27日から30日

都営船橋4丁目団地
 各棟から5〜8名
 12月22日から26日

希望が丘団地自治会
 自治会役員
 12月25日から31日

～～ 船橋ふれあいまつり (11月3日 希望丘公園)が行われました ～～

いつもは閑散そのものの公園周辺は、この日ばかりは文字通り「おまつりさわぎ」。町会自治会21名のスタッフが会場周りをがっちりガード。

指定された場所に駐輪するよう来場者を次々と誘導。「こっちこっち」「ここに止めてください」チャイルドシートから幼児を抱き抱えておるすのに手をかす。母親から笑顔とありがとうの言葉が返ってくる。

船橋地区の人々が、一堂に会する『交流・ふれあい』は、年に一度11月3日だけだ。今日は人と人がふれあう最良の一日なのだ。出会う人に声をかけ、赤色誘導灯を持つ手に力がいった。

「ふれあいまつり」
警備担当から



写真担当として参加して・・・
まず、快晴青天なので子どもの持つ風船が逆光で色鮮やかに光り輝いてひととき美しく見えたこと。

次に、パパと一緒にうれしそうなお子どもが多く、パパと子どものいいふれあいの場所になっているなと思えたこと。

そして、小さな女の子がものづくりでくぎ打ちをしている姿。真剣な眼差しでトントンしている姿は感動ものだった。この子たちの将来に期待したい。いい物を作ってネ。(1)



・・・『町の動き』 その後・・・

昨年の「ミニコミちとせ」で紹介しました松沢看護学校跡地の研究所も一期工事が竣工し早半年がたちました。地域の方々に研究所が目指すところをお伝えします。

(財) 東京都医学研究機構 東京都臨床医学総合研究所 所長代行
田中 啓二

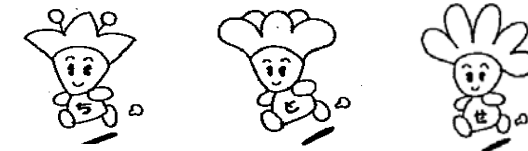
皆さま、こんにちは！本年4月に上北沢に引っ越してきた「東京都臨床医学総合研究所(臨床研)」を代表してご挨拶申し上げます。

「研究所って何をするとところ？」これは、皆さまの素朴なご質問かと思えます。一言では難しいのですが、研究所は「病気の原因を解明して予防・治療法を開発すること」即ち「都民の未来の健康を守る」ことを至上命題として日々研究に打ち込んでいます。

「研究所って危険じゃないの？」とのご質問もあろうかと思えます。新研究所の安全性については世界最高レベルの管理システムを導入していますので、ご安心下さい。また、研究所では、研究者を対象にした専門的な講演会や一般市民向けの講演会などを定期的に開催しています。それ以外にも「サイエンスカフェ in 上北沢(近隣の皆様と科学について気楽に語り合う会)」

<http://www.rinshoken.or.jp/event/scafe.html>なども行っており、地域の皆様とともに歩んでいきたいと考えています。

科学技術は文化の象徴です。臨床研は世界に誇る研究所に躍進することによって、地域の皆さまの誇りとなり得るように発展することを目指しています。今後ともご理解とご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。



フレールの駄菓子屋さん



毎年恒例となっている「フレールの駄菓子屋」を子ども達は本当に楽しみにしています。中には「孫にお土産を・・・」と買っていかれる大人の方も。当たり付きのアメ・ガム、くじ引きなどが人気で、当たりが出るまで何度もチャレンジしている子もいます。フレール自治会の方がボランティアで、仕入れ・お店の運営をしています。

地域で深め合い楽しみ合う読書活動



船橋小学校図書室では、

地域への図書の出し出しを始めました。

読書活動を通して、親子のふれあい・地域のコミュニティづくりを目指し、船橋小学校図書室が地域開放をはじめ3年余り。地域の方に広く利用して頂いています。親子でのんびり絵本を楽しむ姿も見られます。また、開放では、読み聞かせ講習会を開催するなどの活動も行っています。

皆様方の多くの希望に答え、今年度9月より、地域開放図書の出し出しを始めました。今や、蔵書は500冊余り。絵本、子育てや趣味に関する本・話題の本とバラエティに富んだ自慢の蔵書です。是非、一度足をお運びください。

～～船橋小学校図書室開放～～

開放日時：毎週土・日曜日 午後1時から4時
開放利用者：地域の方どなたでも(幼児は保護者同伴で)
貸出対象者：中学生以上の地域の方(身分証明書・学生証・生徒手帳持参)

貸出図書：地域開放図書(絵本は除きます)

運営：船橋小学校遊び場開放委員会

古書店利用で心ゆたかに
ちょっといい話・・・

千歳船橋駅南にある稲荷森稲荷神社の大銀杏の黄葉を写しに行ったとき、その近くに古書店を見つけました。200円、500円で読みたい本に出会うことができ、古書の中から選ぶ喜びと時間、お金を上手に使って一冊の本をゆっくり読むことができます。本と出会い、心ゆたかに充実した人生を生きています。皆様も近くの本屋へいらしてみたいかが？
めぐり逢いは本。(75歳読者)



船橋地区社会福祉協議会
「たより1」住みよい町

船橋社会福祉協議会は開設4年目に当たり新事業の計画を始めました。

テーマを「住みよいまち、暮らしやすいまち」として高齢者障害者、子育てしている方々に安心して町を歩くことができるマップ作りをめざして長期間プロジェクトチームを立ち上げました。準備会は、砧地域社協事務所、船橋あんしんすこやかセンター、船橋地区社協、大東学園生徒(福祉専門含む)です。

今後の活動資金作りにはいよいよフリーマーケットに参加しました。

優しいまちづくりにご協力をお願いします。事業の活動報告は「たより2」でお知らせいたします。

社会福祉協議会
会費募集にご協力ありがとうございました。

平成21年度
1,743,639円の会費が集まりました。
歳末たすけあい・地域ささえあい募金が11月19日から12月18日の間、はじまりました。こちらもよろしく願いいたします。

千歳丘高校・・・
千歳船橋駅前クリーン
キャンペーンに参加！

10月29日に実施した千歳船橋駅前クリーンキャンペーンに1年2組20人の高校生が通学でいつも使っている駅前をきれいにしました。



◎◎ 編集後記 ◎◎

小学4年生のY君、クラブからの帰宅途中、右足を骨折してしまいました。もともと骨が弱く、よく骨折をするそうだが、突然の激痛に倒れ込んだ。そこへ、千歳丘高校1年のK君が通りかかり、まず怪我人がいることが分かるように自転車を置き、Y君宅へ連絡、そして家族が来るまでの数十分間ずっと側で励まし続けたとか。

Y君の胸にはK君のあたたかさが刻まれたことだろう。そして、そのような経験が地域への安心・愛着へとつながっていくのだと思う。編集委員1年生の私にとって、「こういう身近なホッとのお話をお伝えできる事が嬉しい。皆さんの周りの心温まるお話も是非お寄せください！」